

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 現在の経済倶楽部はコロナ禍に見舞われて以降は、通常の講演会に加えてオンラインによる講演録画の配信をしています。通常の講演会では参加者が従前の半分程度に減少していますが、オンライン配信で視聴している会員も多く、講演会の視聴件数でそれが分かります。昨年9月から今年9月までの視聴件数（カッコ内）ランキングのベスト5は以下の通りです。

1位伊藤元重氏（258）、三浦瑠麗氏（237）、3位古賀茂明氏（227）、星浩氏（224）、5位は217で柯隆氏、岡浩一朗氏でした。

新会員をご紹介します。9月はヨコヤマ会長

の横山善司様、渡辺建設社長の渡辺眞幸様です。1月の講師は東京大学大学院教授の藤原帰一氏、拓殖大学海外事情研究所教授の富坂聰氏、政治経済アナリストの古賀茂明氏の予定です。

◆中部◆ 11月の講師の一人は東京財団政策研究所主席研究員の柯隆氏で、中国の最新情勢についてお話し頂きました。そのなかで、台湾有事の前兆として中国の三峡ダムが焦点だと。仮に台湾からのミサイル攻撃があつて決壊した場合、上海、南京が水没する水量がある。そのため、大規模な事前の放流が始まったら台湾有事が迫っている証拠でもあると話されました。

1月の講師は「インサイドライン」編集長の歳川隆雄氏、東短リサーチ社長の加藤出氏を予定しています。

（日暮良一）